

理工情報生命学術院

システム情報工学研究群

*Graduate School of Science and Technology
Degree Programs in Systems and Information Engineering*

1

組織紹介

2

学生支援

3

入試情報

1 組織紹介

IMAGINE THE FUTURE.

人材養成目的と組織構成

システム・情報・社会が融合・複合する学際領域において、グローバルな俯瞰力と多様で柔軟な思考力を持ち、**現実世界の複雑で困難な問題を解決**する独創力・発想力を備えてリーダーシップを発揮する**研究者、大学教員、高度専門職業人**を養成します。

この人材養成目的を達成するため、次の8つの学位プログラムを編成しています：

教育組織



教員組織

システム情報系

Facts & Figures
— 数字で見るシス情

学生数：**1,369**人
(システム情報工学研究科所属学生を含む)

常勤教員数：**201**人

学生・教員比率：**7 : 1**

(R2.5.1現在)

教育と研究の特色：1

基礎科学から先端的学際新領域に及ぶ広範囲の教育を展開し、多角的で新しい視野をもった高度な研究能力を有する人材を育成。

	思想・芸術	政治学	経済学・経営学	社会学	心理学	代数学・幾何学	解析学・応用数学	材料力学・生産工学・設計工学	流体工学・熱工学	機械力学・ロボティクス	電気電子工学	土木工学	建築学	航空宇宙工学・船舶海洋工学	社会システム工学・安全工学・防災工学	材料工学	ナノマイクロ科学	応用物理工学	原子力工学・地球資源工学・エネルギー学	人間医学	生体分子科学	社会経済農学・農業工学	分子レベルから細胞レベルの生物学	生体の構造と機能	社会医学・看護学	スポーツ科学・体育・健康科学	情報科学・情報工学	人間情報学	応用情報学	環境解析評価	環境保全対策	社会学	サービス工学	都市計画学	計算機科学	サイバニクス		
社会学	○	○	○	○	○						○	○			○																				○	○	○	○
サービス工学			○		○	○									○											○	○		○			○	○	○	○			
リスク・レジリエンス工学					○	○	○					○	○		○				○							○	○	○	○	○								
情報理工					○	○				○	○							○									○	○	○								○	
知能機能システム							○		○	○					○	○	○	○	○	○	○	○				○	○	○								○	○	
構造エネルギー工学							○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○																			
エンパワメント情報学	○				○													○							○		○		○									
ライフイノベーション																		○	○							○		○										

産業界や社会で真に求められる科学技術イノベーション人材を育成。

◆ 産学官協働による人材育成の場を構築

本研究群では、筑波研究学園都市の研究機関に所属する研究者を本学教員として招聘する、**連携大学院方式**を実施しています。

さらに、リスク・レジリエンス工学学位プログラム、ライフイノベーション（生物情報）学位プログラムでは、大学・企業・研究所が協働してコンソーシアム・協議会を設立し、それらが母体となって学位プログラムを運営する**協働大学院方式**を実施しています。

学生は、これらの機関に所属する第一線級の研究者から指導を受けることができます。

◆ リカレント教育（社会人の学び直し）の促進

本研究群では、早期修了プログラム・長期履修制度・社会人特別選抜など多様な支援策を用意し、キャリアアップを目指す社会人が、在職でも学位を取得できる環境を整えています。



2 学生支援

博士前期課程

博士後期課程

入学料・授業料免除

日本学生支援機構奨学金
(特に優れた業績による返還免除あり)

ティーチング・アシスタント制度

本研究群では、学振特別研究員の採択支援のため、毎年4月に「**学振特別研究員申請のための直前講座**」を実施し、申請書作成のサポートを行っています。

リサーチ・アシスタント制度

日本学術振興会特別研究員

研究群独自の経済支援

本研究群では、原則として**希望者全員**に、3年間（通常修業年限）に渡って**入学料・授業料の半額相当額**を支援します。

具体的には、学生の入学料・授業料の免除申請結果に応じて、研究群が独自にRAとして雇用し、年間の学生納付金の半額相当額を、RA給与として支給しています。

各学位プログラムによるきめ細かな就職支援

- 外部講師やOB・OGによるキャリアガイダンス
- 就職活動を終えた在学生による就活体験談・交流会
- 博士前期課程・博士後期課程学生の交流会 等

※ 実施内容は学位プログラムごとに異なります

若手研究者育成プログラム

博士後期課程

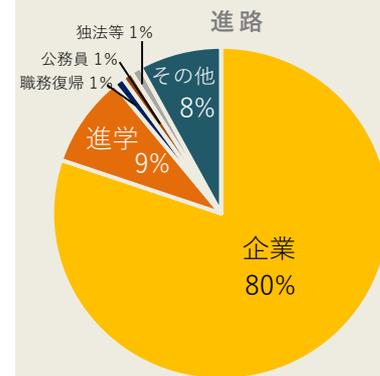
本研究群では、学生から**研究プロジェクトを募集し、その審査結果によって研究費を配分**する「若手研究者育成プログラム」を独自に行っています。

学生が、研究計画調書の執筆～研究費のマネジメントまでの一連のプロセスを経験する機会を提供することで、将来の研究者としてのキャリア形成をサポートしています。

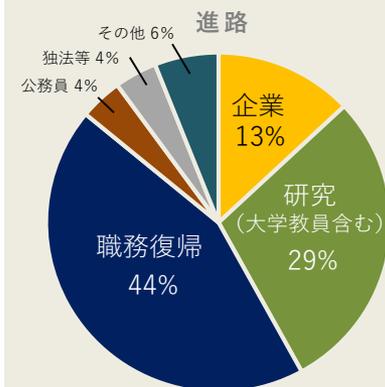
Facts & Figures

— 数字で見るシス情

2019年度前期課程修了者



2019年度後期課程修了者



本研究群では、働きながら学位取得を目指す社会人を積極的に支援しています。

社会人のための博士後期課程
早期修了プログラム

**最短1年で博士号が
取得できます**

すでに査読付き論文などの研究業績がある社会人が、通常3年の博士後期課程を「1年または2年で修了し、課程博士号を取得する」プログラムです。

長期履修制度

**時間をかけての
学位取得も可能です**

仕事と両立しながら、最長5年かけての学位取得が可能です。最大3年分（通常修業年限）の授業料しかかからないため、経済的負担も増えません。

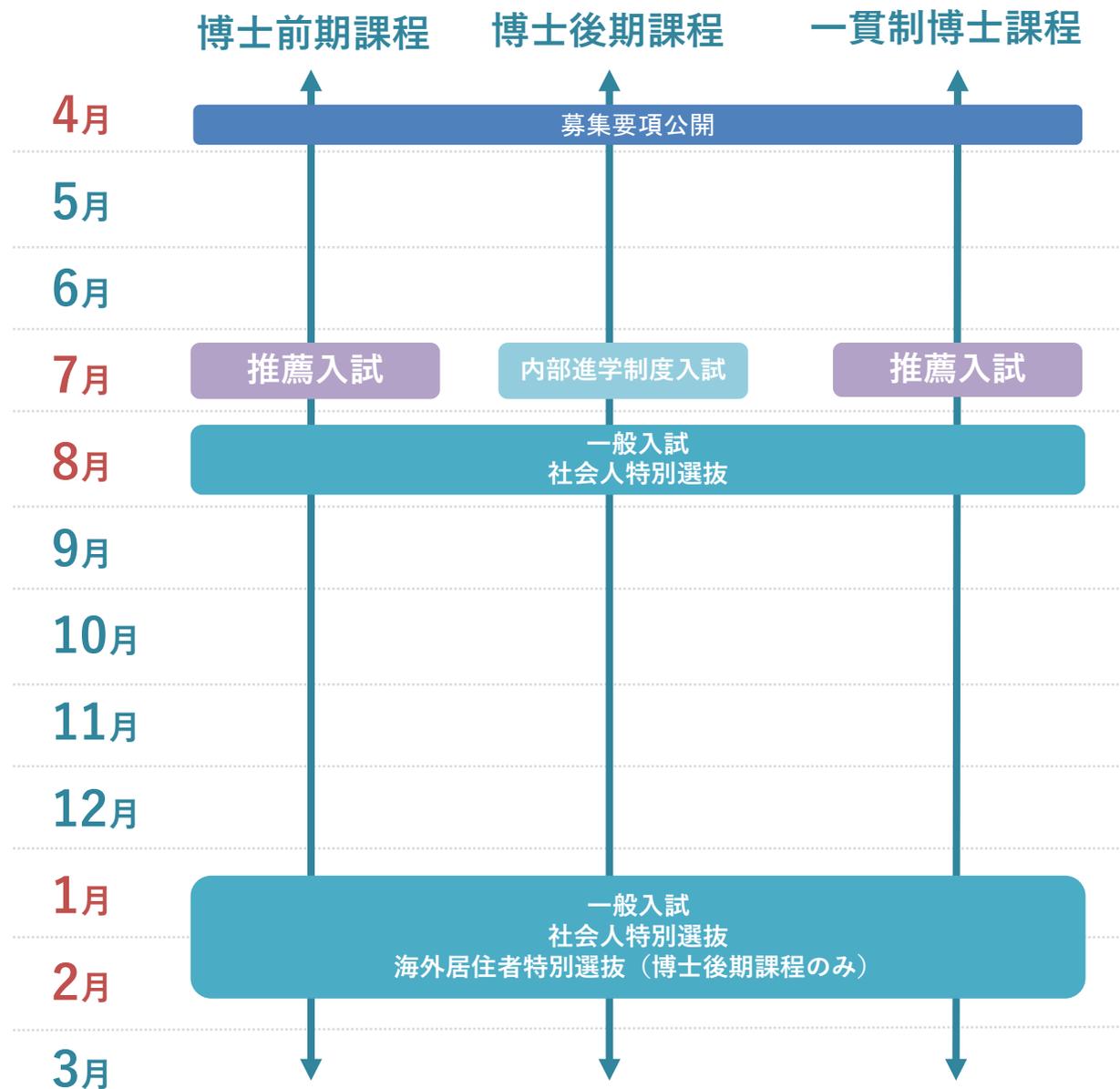
社会人特別選抜

**社会人経験を
活かせる入試**

1年以上の職務経験を有する社会人を対象に、社会人特別選抜を年2回実施。これまでの研究業績や経験が入試で評価されます。

3 入試情報

入試日程



入試に関する最新情報は、

[筑波大学 大学院募集要項](#)



をご確認ください。